

花とみどりと笑顔

学校だより N08

平成26年10月3日

上田市立北小学校

いよいよ明日 運動会 ぜひお出かけください

H26運動会のテーマ「燃え上がれ！ 仲間を 信じて 最後まで」



テーマは、毎年、各クラスごと「テーマにどんな言葉を入れたいか」を考え、児童会役員がそれを集約して、一つの文にまとめるという流れで決めています。

H24のテーマは「やりつくそう チームを信じて 最後まで」でした。

H25のテーマは「最後まで 自分を 仲間を 信じて 突き進もう」でした。

近年のテーマをこうして見比べてみると、「最後まで」「(チーム・仲間を) 信じて」という2つの言葉が共通していることが分かります。

明日は、みなさん誘い合わせてお出かけいただき、子どもたちに脈々と流れている「最後まで 信じて」がんばる姿をご覧ください。

以下に、各学年の学年通信の内容を抜粋・要約して、紹介します。各学年の職員が運動会への取り組みを通して、子どもたちにどんなことを願っているのか、思いや意図を汲んでいただければ幸いです。

1年生

玉入れのときに、子どもたちの大好きな「妖怪ウォッチ」の体操などの身体表現をします。楽しくて、練習のときについはしゃいでしまう子どもたちです。でも、教室で普段取り組んでいる学習の基本「話す人は一人です」「話す人の方を向いて聞きます」が、みんなの願う「たのしい運動会」にするためにも大切なことだと確認しました。練習を重ねるごとに、話を聞き、競技のルールを守り、力一杯取り組めるようになってきたと感じます

「大玉があんなに大きいとは思わなかった」「綱引きの綱が長くてびっくり」「応援のウェーブはおもしろい」など初めてのことに感動し、楽しみながら本番に向けての意欲が高まっているようです。

2年生

かけっこは、初めてコーナーを使って走ります。自分のレーンからはみ出さないように、そして、スピードを落とさずにしっかり手を振ってコーナーを走ります。ゴールを全力で通過できるように、最後まで走りきる練習をしています。

ダンスでは、「忍者サスケ～風のごとし～」では、猿飛佐助やくノーになって、踊ります。忍者がどんな動きやポーズをするのか話し合いました。そして、手裏剣を投げたり、剣で切ったり、弓をひいたり、忍者走りをしたり…子どもたちがいろいろと考えた動きが表現されています。忍者のように素早く走ったり、手裏剣を遠くまで飛ばすことができるでしょうか。

3年生

かけっこや竹引きの練習を始めました。走る距離も短くはありません。最後まで走り切ることは、子どもたちにとって難しいことです。また、竹引きでは、単に「竹を引っぱってあげればいい」わけではなく、作戦があることを知り、さらにやる気が高まったようです。

3学年では、競技の練習や全校運動を通して、『静』と『動』の違いを感じてほしいと願っています。きびきびと動く時には素早く動く・並ぶときはさっと並ぶ・力いっぱい走って引く、その後は止まる・・・というように、「静」と「動」を感じて、身体で表現していけるよう指導にあたりたいです。

また、競技によって並び方や並ぶ場所も異なります。次の競技では自分はどうのように行動するのか、友

だちの動きを見てから動くのではなく、見通しをもって自分で行動できるようになってほしいと願っています。

4年生

今年、4年生は音楽会で「八木節」に取り組み、和太鼓やお囃子のリズムにふれる機会を得ました。その中で、和太鼓にもっとふれたいと感じた子どもたちがたくさんいました。



岩手県に伝わる民族舞踊「みかぐら」はそんな子どもたちをすっかり魅了してしまいました。和太鼓のリズムに加え、扇回しなど高学年だからこそ可能な所作と激しい動きが大きな魅力です。普段は軽快な現代の楽曲に囲まれ生活している私たちですが、和太鼓だけの音を頼りに扇を回し、錫杖の鈴を響かせ、伝統的な動作で踊る、シンプル且つ激しい「みかぐら」に子どもたちは、はまっています。

「あなたは、どんな思いを、この「みかぐら」にこめたいですか」

自分の夢、家族のこと、友達のこと、理想の世界の実現……。子どもたち一人ひとりが書いたカードには、今自分がここにいることへの感謝とともに、大きな夢や願い、明日への決意が書かれていました。そこに「自分と自然・社会やまわりの世界との関わり」について考え始めた「伸びゆく芽」を感じます。

5年生

組体操で外での練習を始めたときのこと。足の裏に当たる小石の痛さ、うつ伏せになって砂だらけになっても手で払うことを我慢しなければならないこと……。体育館では分からなかった厳しさを感じ取りました。それでも皆前向きに頑張っていました。子どもたちは、組体操の時間が楽しいようです。

また、係活動も忙しくなったとき、こんな日記を見つけました。「今日は休み時間全て忙しい1日でした。でも〇〇ちゃんが時間を上手に使って、文句も言わずに仕事に取り組んでいました。それを見て私も頑張ろうと思いました。」慌ただしさの中で、ちゃんと責任を果たす子どもたちの姿に、感心させられます。また、突然の雨で「準備係児童は急いで校庭に集まり、綱を片づけて下さい。」という放送が入ったときのことです。係として校庭に駆けつける人と、その人の代わりにすすんで給食当番をやる人がいました。そういう支え合いがあって、運動会という大きな行事が成り立つのですね。



6年生

組体操でめざす姿

○あたりまえのことをあたりまえに

「友だちを意識した気をつけや休め」「クラス、学年の中でもともに生活している仲間を意識した移動の仕方や目線の向け方」「短い声や音に込める、作り上げようとする気持ち」を表現します。大技にある技の美しさも個人技にある細かな努力も、移動の際に一生懸命全力疾走している姿も、全て同じ価値があります。子どもたちはあたりまえにできることをさらに高めようとがんばっています。

○経験したことの質を高めていく（特に失敗）

組体操の技が全部完璧にできるとは限りません。失敗してしまうこともあります。そこからどう気持ちを持っていくかが大切です。人生でも失敗の活かし方が分からず、悩むことも多いと思います。そんなとき「次にどうするか」を自分の頭で考えられる人になってもらいたいです。

当日の日程

入場行進開始時刻 8 : 20	開会式 8 : 30	休憩 10 : 05 ~ 10 : 25
昼食 11 : 55 ~ 12 : 55	閉会式 14 : 15	終了予定 14 : 30

気持ちのよい運動会づくりにご協力をお願いします

- 座席用シートを押さえるために石やブロック等を使う方は、必ず片付けをお願いします。校庭南西隅（バックネット裏）の石捨て場や、西校舎の西側のフェンス内に運んでください。
- PTA 役員の方や「おやじの会」の方には、準備・後片付け、駐車場で誘導など様々な面でお力添えをいただいています。そうした方の当日の案内・指示には、ぜひご協力ください。